

2008年9月19日(金)～10月30日(木)

寄贈品コーナー「体のない！？化石展」

期間：10月30日まで

昨年、台風9号により砂浜の砂がなくなって西湘海岸に思わぬ化石が多量に発見されました。今回はこのとき、見つかった「生痕化石」(生物の体ではなく、生活した跡)を素材として、「生痕化石のいろいろ」「生痕化石ができるまで」「身近に発見された生痕化石」について、分かりやすく紹介しています。生物の住みか跡、食事の跡、糞の跡、行動の跡の化石が並んでいます。この展示は、学芸員の卵、博物館実習生たち14名が実習の一環で3日間かけて製作したものです。実習生の汗と涙の結晶とも言える展示です。是非ご覧下さい。



展示と生痕化石

2008年度博物館実習が行われる！

9月10日(水)～18日(木)に2008年度の博物館実習が行われました。参加者は各大学から計14人で、1週間にわたり資料整理や普及活動、展示製作などの活動を行いました。

■7日間の実習で、私たちは学芸員のいろはを体験し、日頃学べないことを学びました。展示製作では、「生痕化石」というテーマをいただきましたが、まだ研究の進んでいない分野で資料等も少なく、どの様な表現をすれば入館者へ上手く伝わるのかということに大変苦労しました。しかし、展示作業を通じ実習生同士でコミュニケーションを取るうち、だんだんと完成の形が見えてきて、全員で同じ目標に向かって作業することの楽しさを知ることが出来ました。

学芸員の皆様にはお世話になりっぱなしでしたが、何とか終わることができました。ぜひ多くの方々に見ていただきたいです。また、今回の実習を今後活かせるよう、日々精進していきたいと思っております。ありがとうございました。(山縣瑞恵)

■学芸員の方を始めとする多くの方々に支えられて過ごした7日間は、言葉では言い尽くせないほど充実しており、もう2度とこんな時間が過ごせないのかと思うと、ふと寂しい思いに駆られます。

私達が最後の3日間で試行錯誤の上につくり上げた「体のない！？化石展」は、博物館実習の集大成であり、愛する我が子のような存在です。博物館を来訪して下さいる皆さんのお役に立てれば、これ以上の喜びはありません。博物館に携わる全ての方々に精一杯の感謝を込めて、ありがとうございました。(曾我真紀)

■1週間の博物館実習で、学芸員の方々にはとても親切に指導していただきました。今回の実習では“生痕化石”についての展示製作をしましたが、限られた時間の中で、展示のねらいや意図を分かりやすく展示し、博物館利用者の方々に興味を持って見ていただける展示を製作するのは、とても難しいと感じ、普段何気なく見学していた展示には、学芸員の方々のこのような苦労があったのだと体感しました。

普段、共同作業の機会がない中、14人の実習生が意見を出し合い、協力し1つの展示に取り組むというのは、良い刺激になりました。この実習で学ばせていただいたことを大切にしていきます。

(有賀小百合)



生痕化石の保存処理



博物館実習生14人による怒濤の展示製作活動

